

## 第13回岩手県支部学術集会

学術集会会長：岩手県立磐井病院院長 佐藤 耕一郎

2022年  
10月1日  
(土)岩手県  
立中央病院  
で現地と  
Webの病  
院職員のみ  
で運営を行  
うハイブ  
リッド方式



会場風景

にて、『患者・職員満足度が高い病院となるためには今何をすべきか』をテーマに開催いたしました。参加者は現地103名、Web35名でした。

一般演題は32題の応募があり、AとBの2会場(B会場は11:00からライブ配信のみ)での白熱した議論となりました。特別講演ではCOML理事長の山口育子先生が『患者・医療者双方の満足度を高めるために』という題で、患者と医療者のコミュニケーション不足が説明不足の真実であり、チームで患者とコミュニケーションを取ることが解決法と述べられました。ランチョンセミナーでは八幡平市病院事業管理者の望月 泉先生が『待ったなしの働き方改革』として現行ルールと新情報をわかりやすく説明されました。パネルディスカッションでは『患者・職員満足度が高い病院となるために各職種は今何をすべきか』をテーマに基調講演を町立西和賀さわうち病院の北村道彦統括院長が、さらに7人の演者が看護師、医師、薬剤師、検査技師、事務、患者の立場から発表され、最後に岩手県医療局長の小原 勝氏にまとめていただきました。プロダクトとして患者満足度を上げるには十分なマンパワーのもとに期待値未達の事がなくかつ期待値以上のことが必要であることが得られました。

学術集会全般を通して終始活発な討議がなされ、参加者全員で作る学術集会として成功裏に終わることができました。本学術集会にご登壇、ご参加いただきました皆様と、コロナ禍にありながら一生懸命準備・運営をしてくださいました岩手県立病院職員の皆様に深く感謝申し上げます。

## 第12回愛媛県支部学術集会

学術集会会長：市立宇和島病院事業管理者 梶原伸介

2022年10月1日(土)、「地域連携」をテーマに第12回愛媛県支部学術集会を開催いたしました。当初は現地

もしくはハイブリッド方式による開催を予定しておりましたが、オミクロン株による新型コロナウイルス感染症蔓延のため、Web方式での開催を余儀なくされました。

新型コロナウイルスの感染拡大は、医療・介護の分野に大きなダメージを及ぼす一方で、地域包括ケアシステムの推進やICT発展の後押しとなったように思います。今回は、オープニングセミナーとして「地域包括ケアから地域共生社会へ」をテーマに医療法人社団健育会副理事長・慶應義塾大学医学部客員教授の宇都宮先生、特別講演として「病院、地域、行政を繋ぐ医療情報連携 まめネットの現在」をテーマに島根県立中央病院病院長・NPO島根医療情報ネットワーク協会理事の小阪先生をお招きし、ご講演をいただきました。また、一般演題では、幅広い分野から25題のご発表をいただきました。

Web開催となった本学術集会でしたが、180名の方にご参加をいただき盛会のうちに終わることができました。開催にあたり、ご支援とご協力を頂きました関係各位の皆さまに心より感謝申し上げます。

## 分科会開催案内

### 2022年度 地域連携分科会(Web開催)

テーマ：2024年に始まる連携新時代

2024年は診療報酬・介護報酬・障害福祉サービスのトリプル改定の年、また第8次医療計画、医師の働き方改革、外来医療計画のスタート年など惑星直列改定の年です。今回の地域連携分科会ではこうした2024年惑星直列を1年後に控えて、地域連携に係るテーマ、紹介受診重点病院、かかりつけ医の在り方などを取り上げ、連携新時代を一緒に考えていきたいと思っております。

みなさまの御参加をお待ちします。

・日 時 2023年2月18日(土) 13:00～16:30

・場 所 Web開催(Zoomを利用)

・プログラム

12:00 受付開始

13:00 開会

日本医療マネジメント学会理事長 宮崎久義

13:05～13:50 講演1

「2024年診療報酬改定と地域連携の展望(仮)」

厚生労働省保険局医療課主査 松木田瞭

13:50～14:25 講演2

「紹介受診重点病院とかかりつけ医」

社会福祉法人日本医療伝道会衣笠病院グループ

相談役 武藤正樹